

## 平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 第一カッター興業株式会社

コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広瀬 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小池 保

TEL 0467-85-3939

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	2,033	7.9	△46	—	△31	—	△52	—
24年6月期第1四半期	1,885	10.5	31	△4.8	46	△9.4	67	93.9

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 △52百万円 (—%) 24年6月期第1四半期 64百万円 (85.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	△18.53	—
24年6月期第1四半期	23.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
25年6月期第1四半期	5,836		4,418		74.5		1,528.10	
24年6月期	6,227		4,499		71.1		1,556.72	

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 4,349百万円 24年6月期 4,430百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	0.2	307	△0.2	332	0.2	176	△16.6	62.06
通期	8,000	△0.9	480	△0.4	520	△0.8	276	△14.2	96.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期1Q	3,000,000 株	24年6月期	3,000,000 株
25年6月期1Q	153,946 株	24年6月期	153,946 株
25年6月期1Q	2,846,054 株	24年6月期1Q	2,875,930 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に、一部の業種において回復基調が認められるものの、欧州信用不安や長引く円高の影響もあり、全体としては先行き不透明な状況が続いております。

建設業界においても、震災復興関連需要は堅調に推移しているものの、その他の地域においては設備投資意識が低調に推移していることから、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況下で、当社グループ全体の売上高は2,033百万円(前年同四半期比7.9%増)となり、営業損失は46百万円(前年同四半期は営業利益31百万円)、経常損失は31百万円(前年同四半期は経常利益46百万円)、四半期純損失は52百万円(前年同四半期は四半期純利益67百万円)となりました。

上記の通り、当社グループは当第1四半期連結累計期間において営業損失、経常損失、四半期純損失の計上となりました。これは、当社グループが当第1四半期連結累計期間において取り組みました第二東名高速道路渡刈高架橋工事において、環境保全の視点から工事汚泥の河川への漏出を一切起こさない施工方法を採用したことによるものであります。

当社グループは、従来より、工事の安全はもちろんのこと、環境への影響を最小限にとどめることに配慮しながら工事を行ってまいりました。本工事にあたっては河川にかかる橋梁工事ということもあり、河川環境への特段の配慮が必要になったため、汚泥処理に細心の注意を払うことに努めた結果、当該工事に関して追加の環境対策費が計上されるに至りました。

この環境対策費は当該橋梁工事において特別に要求される性質の支出であり、このたびの当社グループの第1四半期決算は、当社グループの通期の減収・減益傾向を示すものではないと考えております。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、売上高は第1四半期(7月～9月)・第4四半期(4月～6月)に減少し、第2四半期(10月～12月)・第3四半期(1月～3月)に増加いたします。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### (切断・穿孔工事業)

切断・穿孔工事業につきましては、耐震補強関連工事、高速道路補修関連工事、発電所改修関連工事、橋脚補修関連工事及び電鉄補修関連工事等の強化・市場拡大に努めました。その結果、切断・穿孔工事業の完成工事高は2,001百万円(前年同四半期比6.9%増)となりました。

#### (ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、前期に引き続き新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、完成工事高は25百万円(前年同四半期比110.4%増)となりました。

#### (その他)

前連結会計年度から開始いたしましたリユース事業につきましては、当第1四半期連結会計期間において本格的に営業活動を開始いたしました。その結果、売上高は6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金預金が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ390百万円減少し、5,836百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ309百万円減少し、1,418百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ81百万円減少し、4,418百万円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は74.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月13日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算について、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,075,170	1,680,574
受取手形・完成工事未収入金	1,607,859	1,590,962
未成工事支出金	73,423	63,813
商品	—	146
材料貯蔵品	51,746	50,569
繰延税金資産	38,192	38,192
その他	48,842	38,723
貸倒引当金	△16,166	△15,995
流動資産合計	3,879,068	3,446,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	389,854	471,557
減価償却累計額	△180,502	△185,590
建物及び構築物（純額）	209,351	285,967
機械装置及び運搬具	1,852,241	1,899,001
減価償却累計額	△1,505,346	△1,532,468
機械装置及び運搬具（純額）	346,894	366,533
工具、器具及び備品	67,338	72,130
減価償却累計額	△59,095	△60,103
工具、器具及び備品（純額）	8,242	12,026
土地	1,263,614	1,263,614
建設仮勘定	73,091	—
有形固定資産合計	1,901,195	1,928,142
無形固定資産	17,700	16,606
投資その他の資産		
投資有価証券	108,343	115,581
繰延税金資産	173,566	173,566
その他	156,671	165,715
貸倒引当金	△8,917	△9,951
投資その他の資産合計	429,664	444,911
固定資産合計	2,348,559	2,389,660
資産合計	6,227,628	5,836,646

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	382,389	393,808
短期借入金	14,316	44,316
未払法人税等	237,298	4,161
賞与引当金	25,420	107,680
その他	558,712	373,625
流動負債合計	1,218,135	923,591
固定負債		
長期借入金	86,363	82,784
退職給付引当金	360,811	347,401
役員退職慰労引当金	57,639	59,706
負ののれん	228	—
資産除去債務	4,561	4,578
固定負債合計	509,603	494,470
負債合計	1,727,739	1,418,062
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	465,100	465,100
利益剰余金	3,617,085	3,535,649
自己株式	△121,985	△121,985
株主資本合計	4,430,499	4,349,063
少数株主持分	69,388	69,520
純資産合計	4,499,888	4,418,584
負債純資産合計	6,227,628	5,836,646



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高		
完成工事高	1,885,269	2,027,315
商品売上高	—	6,295
売上高合計	1,885,269	2,033,610
売上原価		
完成工事原価	1,416,974	1,623,946
商品売上原価	—	1,438
売上原価合計	1,416,974	1,625,385
売上総利益		
完成工事総利益	468,295	403,369
商品売上総利益	—	4,856
売上総利益合計	468,295	408,225
販売費及び一般管理費	436,919	454,862
営業利益又は営業損失(△)	31,375	△46,637
営業外収益		
受取利息	19	28
受取保険金	642	2,705
受取家賃	—	4,650
負ののれん償却額	228	228
持分法による投資利益	8,846	7,237
雑収入	5,480	5,447
営業外収益合計	15,216	20,297
営業外費用		
支払利息	457	364
売上債権売却損	11	58
不動産賃貸原価	—	2,468
雑損失	0	2,533
営業外費用合計	469	5,424
経常利益又は経常損失(△)	46,122	△31,764
特別利益		
固定資産売却益	84,165	14
保険解約返戻金	6,109	—
役員退職慰労引当金戻入額	15,595	—
特別利益合計	105,869	14
特別損失		
固定資産売却損	5,400	61
固定資産除却損	377	344
和解金	30,000	—
減損損失	—	18,802
特別損失合計	35,777	19,209

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	116,214	△50,959
法人税等	51,358	1,643
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	64,855	△52,603
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,911	131
四半期純利益又は四半期純損失(△)	67,766	△52,735

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	64,855	△52,603
四半期包括利益	64,855	△52,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,766	△52,735
少数株主に係る四半期包括利益	△2,911	131

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナンス事 業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,872,998	12,271	1,885,269
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,872,998	12,271	1,885,269
セグメント利益又は損失(△)	259,619	△8,084	251,534

(注) 報告セグメントの売上高合計額は、連結財務諸表の完成工事高と一致しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	251,534
のれん償却額	△104
全社費用(注)	△220,054
四半期連結損益計算書の営業利益	31,375

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナンス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,001,492	25,823	2,027,315	6,295	2,033,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,001,492	25,823	2,027,315	6,295	2,033,610
セグメント利益又は損失(△)	137,304	△1,660	135,644	△1,177	134,467

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、前連結会計年度より事業を開始いたしましたリユース事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	135,644
「その他」の区分の損失	△1,177
のれん償却額	△104
全社費用(注)	△181,000
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△46,637

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「切断・穿孔工事業」セグメントにおいて、18,802千円の固定資産減損損失を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。